

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2021-1020	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:地域住民コホート調査宮城参加者 成人約30,000人 試料:なし 情報:ベースライン調査及び詳細二次調査(該当者)における基本情報、調査票情報、検体検査情報、認知・心理検査情報、アレイ情報、メタローム解析情報、食後時間情報 脳MRI検査参加者については、脳MRI情報(画像解析値(T1 強調画像より算出))、認知・心理検査情報		
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	株式会社ツムラ		
研究題目	睡眠、うつ、ストレスに関連する疾患の層別化に向けたバイオマーカー探索のための疫学研究			研究期間	2022年3月～2025年3月		
実施責任者	小柴 生造	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	教授	
研究目的と意義	個人の健康に影響を与えるとされる睡眠、うつ、ストレス等に着目し、それらの疾患状態を客観的に評価できるバイオマーカーを探索することを目的とします。そのため、東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査で収集した睡眠、うつ、ストレス等に関する指標をもとに集団を層別化するとともに、メタローム解析情報を中心とした各種検査値・解析値(ゲノム・オミックス解析情報、生化学検査値、MRI測定値情報)及びその経時変化との関連を解析します。						
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク機構におけるコホート調査で収集された睡眠の質、うつ、ストレスの情報と、各種検査値および解析データ(ゲノム・オミックス解析情報や生化学検査値およびMRI測定値情報等)との関連を解析し、対象とする疾患の層別化が可能となるマーカーの探索を行います。また、詳細二次調査に参加された方については、同様の情報を利用して経時変化の情報解析し、病態発症や進展に関する知見を得ます。						
期待される成果	主観的な指標で判断される睡眠、うつ、ストレス等の病態を客観的に評価できるバイオマーカーを開発することで、漢方薬を含めた薬剤の有効性の明確化やリスク予測の開発、個別化医療・予防の実現に貢献します。						
これまでの倫理 審査等の経過	2022年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(中央一括審査)						
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	ヒトを対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針の他、別途締結する研究契約を遵守して研究を遂行します。高度なセキュリティーを担保したスーパーコンピュータを機構内に設置し、個人識別情報を管理しています。本研究において、共同研究者がアクセスする場合も、遠隔セキュリティーームの端末から、あらかじめ承認された者のみが解析を行います。						
その他特記事項	共同研究費(ツムラ)						

※公開日 令和4年1月26日